

### 一般社団法人日本光学会第3期定期総会議事録

日 時：2018年3月20日(火) 11:00~11:30

場 所：筑波大学東京キャンパス文京校舎118講義室

出席者：谷田会長，他23名

議 事：

総会成立の確認

- ・現会員数(618名)に対し，過半数の定足数を満足したことが報告され(委任状も含め計339名)，本総会の成立が確認された。

#### 1. 第1号議案

下記について担当理事および監事から報告が行われ，承認された。

##### 1-1. 第3期事業報告

- ・第3期(2017年1月1日~2017年12月31日)の事業について報告された。

##### 1-2. 第3期決算報告

- ・第3期の決算について報告された。

##### 1-3. 監査報告

- ・事業報告および決算関係書類について監査した結果，適正であるとの報告がなされた。

#### 2. 第2号議案

- ・理事の改選について，3名の理事の退任が報告され，以下の13人の理事と2人の監事が指名され，承認された。

代表理事：谷田 純，伊藤雅英，志村 努

理事：和田 篤，福田隆史，山口 進，斎木敏治，田中 哲，的場 修，島野 健，山口雅浩，菊田久雄，川田善正

監事：黒田和男，宮前 博

#### 3. 報告事項

- ・第4期事業計画および予算案が報告された。

### 一般社団法人日本光学会 2017年度第1回委員総会

日 時：2018年3月20日(火) 11:30~13:00(担当業務内容に関する個別打ち合わせを含む)

場 所：筑波大学東京キャンパス文京校舎1階118講義室

出席者：谷田会長，他30名

議 事：代表理事より，今回の委員総会では担当業務の引き継ぎを主たる目的とするとの説明があった。その後，理事・運営委員，OR編集委員会など，担当ごとに個別の打ち合わせが行われた。

### 第43回光学シンポジウム「実用的な最先端の光学設計/光計測/光学素子/光学システム」

光学シンポジウムは，光学設計者・技術者の皆様が日頃の研究・開発の成果を発表し，討論する場として毎年開催されています。6月20日にチュートリアルを，6月21~22日に講演会を行います。

期 日：2018年6月20日(水)~22日(金)

場 所：東京大学生産技術研究所 An 棟コンベンションホール(目黒区駒場)

主 催：一般社団法人日本光学会

共 催：公益社団法人応用物理学会フォトニクス分科会

定 員：詳細は光学シンポジウムHPをご参照ください。

参加費：日本光学会・応用物理学会・OSA・OSK会員：

一般5,000円，学生無料，日本光学会賛助会員・SPIE会員・協賛学協会員：一般7,000円，学生2,000円，非会員：一般9,000円・学生2,000円。

(チュートリアル参加費は別途：一般10,000円，学生会員2,000円，学生非会員5,000円。6月8日までの申込の場合は一般8,000円)

詳細はシンポジウムHPをご参照ください。

問合せ先：パナソニック(株)要素技術開発センター開発3部開発3課

市橋宏基

E-mail [optsymp43-aud@myosj.or.jp](mailto:optsymp43-aud@myosj.or.jp)

URL [http://myosj.or.jp/event2/opt\\_symp](http://myosj.or.jp/event2/opt_symp)

### 2018年度光学論文賞受賞候補者の募集

一般社団法人日本光学会では光学の分野における優秀論文の著者に対し，下記の通り光学論文賞を贈っています。光学論文賞は1960年に創設され，光学奨励賞とともに日本光学会の活動を示す重要な指標の役目を果たしております。光学論文賞は公募に応じた自薦，他薦の候補者から選考されます。奮ってご推薦ください。

受賞対象者：原則として表彰年度(2018年)の4月1日において満40歳未満の日本光学会会員であり，2017年1月から2017年12月までに発行された学術刊行物に発表された光学に関する原著論文の第1著者。詳細は光学論文賞規程をご覧ください。

提出書類：候補者の氏名，会員番号，生年月日，満年齢(公募締切日における)，勤務先，勤務先所在地，自宅住所，連絡先，電子メールアドレス，候補論文(1編)

および関連論文名のリスト、推薦理由（自薦他薦を問わず、論文の特徴、優れた点などを1,000字以内でわかりやすく記す）、候補論文1部、関連論文2編以内で各1部。他薦の場合は推薦者の氏名、勤務先、勤務先所在地、連絡先、電子メールアドレス。書類はE-mailでご応募ください。PDF形式ファイルまたはMicrosoft Word書式ファイルにて、すべてメールに添付してご送付いただいて結構です。メールのサイズが大きくなる場合には、2MBを目安に適宜分割してください。なお、E-mailでのご送付が困難な場合に限り、郵送でも受け付けます。その際、提出書類を保存したCD-ROMを同封してください。

書類提出期限：2018年7月31日(火) 必着

提出先：担当理事 志村 努

〒153-8505 東京都目黒区駒場4-6-1

東京大学生産技術研究所

電話 03-5452-6137 Fax 03-5452-6140

E-mail osj\_ronbun@myosj.or.jp

## **2018年度「コニカミノルタ光みらい奨励金」募集のお知らせ**

一般社団法人日本光学会では、新産業の創出につながるようなポテンシャルの高い光科学技術を進歩させるために、次世代を担う独創的な研究の奨励ならびに若手研究者の育成を目的として、「コニカミノルタ光みらい奨励金」を募集いたします。本学会員の皆様が、将来社会に向けて大きなビジョンを描き、学会のブレインネットワークの場を活用して独創的な研究を続けていただく一助になることを期待しております。これから自らのアイデアを実現しようとする若手研究者の皆様の応募をお待ちしております。

募集分野：「光学」に関連する研究で、すでに研究途上のものでも、これから始めるものでもよい。基礎研究、応用研究のいずれでもよい。海外や他の分野との共同研究でもよい。

応募資格：日本光学会会員（学生会員含む）。ただし、学術振興会特別研究員など他機関の研究費の受給者は、機関が定める規定に注意すること。また、他の機関より研究助成を受給している場合は、研究題目も含めて申請用紙の研究者略歴に記載すること。

採択件数：①コニカミノルタ光みらい若手奨励金（30万円）1名（社会人と学生の応募から選考）、②コニカミノルタ光みらい学生奨励金（5万円）3名（原則として学生の応募から選考）

応募方法：日本光学会ホームページ（<http://myosj.or.jp/>）より申請用紙をダウンロードし、必要事項を記載後、PDFファイルを電子メールで送付する。なお、提案する研究が過去に公表された研究の延長である場合、提案の研究と過去の研究との差異を「独創的なポイント」にて明記し、参考文献（応募者が著者の文献に限る）があるときはその参照先を記載すること。

応募締切：2018年7月31日(火)

結果通知：選定結果は2018年10月頃に、申請のあった会員に通知する。表彰式はOptics & Photonics Japan 2018にて行う。

奨励金の使途：研究目的であれば使途は限定されない。

奨励金受給者の義務：2019年12月31日までに研究報告書を提出する。コニカミノルタ光みらい若手奨励金の受給者は、研究成果をOptics & Photonics Japan 2019で発表する。

申請書提出先および問合せ先：

日本光学会 光みらい奨励金担当委員

E-mail: hikari-mirai2018@myosj.or.jp

個人情報の取り扱いについて：

日本光学会事務局 E-mail: info@myosj.or.jp

後援：公益財団法人コニカミノルタ科学技術振興財団

※個人情報に関して：提案者の個人に関する情報は、日本光学会による研究会やフォーラムの案内、広報支援活動などの情報提供に利用させていただくことがあります。

## **平成30年度晝馬輝夫光科学賞および研究助成の募集**

### 1. 晝馬輝夫光科学賞

(1) 対象者：日本の光科学の基礎研究や光科学技術の発展に貢献する研究において、独自に独創的な研究業績を挙げた研究者個人で、応募締切時点で45歳未満の方。外国籍の場合は、日本の大学等公的機関に5年以上在籍し、その間に対象となる研究成果の中核を形成された方。学識経験者の推薦書によるものとする。

(2) 副賞：500万円

(3) 応募締切：平成30年6月29日(金) 必着

### 2. 研究に対する助成

(1) 対象課題

第1課題：光科学の未知領域の研究—とくに光の本質について

第2課題：細胞間あるいは分子間の情報伝達についての研究

(2) 助成金総額：約5,000万円

(3) 応募締切：2018年7月13日(金) 必着

### 3. 連絡先

公益財団法人光科学技術研究振興財団  
〒430-0926 静岡県浜松市中区砂山町 325-6 日本生命浜松駅前ビル 4 階  
電話 053-454-0598 Fax 053-454-1929  
E-mail info@refost-cs.or.jp  
URL <http://www.refost-hq.jp>

### 第 11 回新画像システム・情報フォトニクス研究討論会

本討論会では、画像システム、情報フォトニクス・情報光学、撮像デバイス、ディスプレイ、画像処理・応用などの分野の研究内容に対する相互理解を深めるとともに、情報発信を行う場として、1 件の招待講演以外のすべての発表をポスター形式で行います。未発表の研究に限らず、学会では十分に説明しきれなかった内容の報告や、さらに踏み込んだ議論がなされることを期待しています。この研究討論会は、過去 3 年間、OPJ でのシンポジウムとして開催

いたしましたが、今年からは再び IPG 単独開催のイベントとして再出発いたします。画像システム、情報光学に携わる多くの研究者、技術者、教員、学生の方々のご参加をお待ちしております。

日 時： 2018 年 6 月 14 日(木) 13:00~17:00 (終了後 17:15 より懇親会)

場 所： キャンパスイノベーションセンター (田町 CIC) 国際会議室 (ショートプレゼン, 招待講演) およびリエゾンコーナー (ポスター発表)

主 催： 日本光学会情報フォトニクス研究グループ

参加費： 情報フォトニクス研究グループ一般会員 6,000 円, 非会員 7,000 円, 学生 2,000 円 (消費税含む)。懇親会費：一般 3,000 円, 学生 2,000 円。

問合せ先： 東京工業大学未来産業技術研究所 鈴木裕之

E-mail [sgs-ipg-touron@isl.titech.ac.jp](mailto:sgs-ipg-touron@isl.titech.ac.jp)

URL <http://www.apos2018.org/>

#### 日本光学会 *news* の掲載申込先：

〒924-0838 石川県白山市八束穂 3-1 68-210 金沢工業大学情報フロンティア学部メディア情報学科 根岸 一平 電話 076-274-7898 E-mail [negishi@neptune.kanazawa-it.ac.jp](mailto:negishi@neptune.kanazawa-it.ac.jp)

なお、掲載申込は原則として発行日 (10 日) から 2 か月前の 15 日まで、開催日が 1~10 日の場合は、開催日の 3 か月前の 15 日までをお願いします。

掲載にあたっては、「日本光学会 *news*」の掲載基準を日本光学会ホームページでご確認ください。

## 「応用物理」第 87 巻第 5 号 (2018 年 5 月号) 予定目次

### 今月のトピックス

第 57 期 (2018 年) 応用物理学会 役員紹介 (後編)  
記者が見た! 2018 年春季学術講演会 …………… 尾関 章  
解説

シリコン光電子集積チップへ向けた光源集積 …………… 西山伸彦  
オンデマンドホログラフィック光ピンセット …………… 岩井俊昭  
マルチモーダル・マルチスケール計測医工学  
…………… 羽石秀昭, 山口 匡, 菅 幹生

### 最近の展望

マルチチャンネル分光器の新しい波長分解能向上技術 …… 小西 毅

### 研究紹介

発熱多層膜を使った瞬間接合技術 …………… 生津資大

酸化半導体中に自己組織化した金属ナノピラーによる  
高効率・水分解光電極反応  
…………… 川崎聖治, 高橋竜太, リップマー ミック

### 基礎講座

光学系構築 (実践編) — 共焦点レーザー走査型 (CLSM)  
顕微鏡を作ってみよう …………… 岩崎孝之

### Inside Out

日本人 PI 体験記: 国内編 …………… 三宅丈雄

### Science As Art

無機細胞の誕生 …………… 松井裕章